

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月30日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績			
整理番号	19	課題区分	B	
実施機関	大町保健福祉事務所			
事業名	北アルプス地域ACEプロジェクト推進事業			
担当課	所属	健康づくり支援課予防衛生係		
	電話	0261-23-6526(2322)		
	E-mail	omachiho-kenko@pref.nagano.lg.jp		
事業概要	目的 (目指す姿)	食育、運動習慣の定着、がん検診受診率向上のため、健康づくりに関わる講演会等を開催し、北アルプス地域における「信州ACEプロジェクト」の推進を図る。		
	現状と課題	北アルプス地域の三大死因(悪性新生物、心疾患、脳血管疾患)死亡率(対人口10万人)は、県平均を上回っており、年次別に見ると悪性新生物と心疾患による死亡率が増加傾向にある。また、BMI空腹時血糖等、健診結果データが県平均を上回っているものもあり、糖尿病になるリスクが高い状況にある。がん検診受診率については、本県において平成29年度までに子宮頸がん・乳がんの検診受診率50%以上を目標値として啓発事業を推進してきたが、その目標値を達成することができなかった。北アルプス地域における乳がん検診については、大町市、池田町の受診率が長年にわたり低い状況が続いている。		
	内容 (変更後の内容)	「信州ACEプロジェクト」普及のため、北アルプス医療センターあづみ病院が主催する「あづみ病院祭」に併せ、がん対策講演会等を開催する。 (1)実施時期 令和元年11月3日(日) 10時から15時まで (2)場所 北アルプス医療センターあづみ病院(北安曇郡池田町池田3207-1) (3)内容 ① Action(運動) ポールウォーキングの体験コーナー ② Check(健診) がん対策推進のための講演会・検診啓発の展示ブースの設置 【講演会講師】松本がん哲学みずたまカフェ 齋藤 智恵美 氏 ③ Eat(食事) 食生活改善に関する展示ブースの設置・試食(協力団体:松本大学、食改等)		
	事業期間	令和元年8月 ～ 令和元年11月		
	成果目標 (成果指標)	①Action 運動習慣定着のため、講師を招きポールウォーキング体験を開催する(受講者数20名以上) ②Check 講師を招き、がん検診への理解を深めるための講演会を実施する(受講者数80名以上) ③Eat 食生活改善を図るため、専用ブースを設置する(来場者数200名以上)		
事業費等	(単位:円)			
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考
	ポールウォーキング体験コー	講師によるポールウォーキン	37,941	
	がん講演会・検診啓発ブース	がん体験者による講演会・が	78,584	
	食生活改善ブース	減塩料理の試食等	29,373	
合計			145,898	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果	評価
	1 イベントの広報 チラシの新聞折込(管内16千部)、池田町広報誌掲載、新聞(大系タイムス)記事への掲載、大町保健福祉事務所のホームページ掲載、管内企業等関係機関へのチラシ送付(65部) 2 ポールウォーキング 参加者:10名 3 がん講演会 参加者:60名 4 食生活改善ブース 来場者:150名		1 広報は新たに新聞折込を実施したことで、関係機関だけでなく広く地域住民に周知することができた。 2 ポールを使ったウォーキング講座を通じて運動習慣の定着の必要性を認識してもらうことができた。 3 講演会では参加者のほとんどが地域住民かつ女性であり、事業のねらいである対象者への啓発ができた。 4 食生活改善ブースでは、減塩や野菜摂取増加について、試食や塩分測定比べ等の体験を通して効果的に普及啓発をすることができた。	○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	依然として大北地域における女性特有のがん検診受診率が低いことから、引き続きがん体験者の講演会等を実施し、啓発活動を行う。			